

令和5年 教職員評価（12月）

※評価基準 4：よく当てはまる（9割以上）、3：どちらかという当てはまる（8割以上～9割未満） 2：あまり当てはまらない（6割以上～8割未満）、1：全く当てはまらない（6割未満）	評価：4 3 2 1		7月との比較
	令和5年7月	令和5年12月	
【授業改善】学力向上推進プラン プロジェクトⅡの取組			
①基礎的・基本的な知識・技能の定着ができています	2.6	2.8	↑
②児童から問いが生まれる授業の工夫を行っている	2.8	2.9	↑
③学習のねらいの達成に向けた交流場面を設定している（学びの主体を教師から児童へ）	2.8	3	↑
④授業では「めあて」と正対した「まとめ・ふりかえり」ができています（45分完結）	3.1	3.2	↑
⑤「道徳」の授業で指導方法の改善を図っている（自分事としての振り返り、自覚化）	3	3.2	↑
⑥校内研を意識した日々の授業改善に取り組んでいる（ICTの活用）	2.7	3.1	↑
⑦授業の開始・終了時刻の徹底・立腰・黙想の実施（タイムマネジメント）	3.2	3.4	↑
⑧学習規律の徹底（立腰、黙想、返事、姿勢、言葉遣い、学習用具の準備）	2.8	2.9	↑
⑨授業と連動した家庭学習の習慣化（自学自習力）	3.3	3.3	
【揃える共通実践】チーム玉小の取り組み			
⑩将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導を行っている（キャリア教育）	2.5	2.9	↑
⑪「読書が好きな子供」の育成を目指し、読書指導を行っている	2.8	2.9	↑
⑫望ましい生活習慣づくりを目指した指導を行っている（はきものを揃える、廊下歩行、早登校）	3.2	3.2	↑
⑬「立ち止まりあいさつ」の徹底（凡事徹底事項）	2.5	2.6	↑
⑭「10の資質能力」の育成を意識した指導を行っている	2.8	2.6	△
⑮いじめや問題行動の予防や早期発見、早期解決に努めている	3.5	3.5	
⑯児童のよさを見つけ、児童相互に認め合えるような指導に努めている	3.6	3.4	△
⑰計画的に地域人材や保護者などを活用した授業を実施している（地域素材の活用）	2.4	2.4	
【教師力向上】学び合い、成長し合う職場風土の醸成			
⑱教育公務員として法令・服務規律を遵守して教育活動を行っている	3.7	3.7	
⑲担当した校務分掌について主体的に企画・実施している	3.3	3.3	
⑳施設設備について、日常的な安全点検や管理が行われている	3.6	3.5	△
㉑仕事に「やりがい」を感じている（多忙感より充実感・達成感が多い）	3.1	2.9	△
㉒学習指導や教材研究等、教職員本来の業務に専念できている（業務改善、働き方改革）	2.9	2.6	△
【環境整備】居心地の良い楽しい学校づくり			
㉓児童は学校へ来ることを喜んで（楽しんで）いる	3.2	3.3	↑
㉔子供と向き合えている（生徒指導の三機能に基づく児童へのかかわり）	3.2	2.9	△